

第9回倫理審査委員会会議の記録の概要

日 時： 平成23年1月14日（金） 15：15～

場 所： 会議室

出席者：	委員（進行）	副院長	林弘人
	委員	事務部長	口藏紳一郎
		看護部長	下高恵子
		麻酔科医長	内本亮吾
		企画課長	角田康二
		薬剤科長	八本聖秀
		外部委員	中野昌治(弁護士)
			阿武英晴(市薬剤師会)
申請者	外科医長	矢原昇	
	耳鼻科科長	村上直子	

審議事項：議題1、「進行・再発胃癌に対するTS-1隔日投与+レンチナン併用療法を検証する第II相試験」

副院長：ただ今より受託研究審査委員会を開催します。

矢原昇：議題1

進行・再発胃癌を対象としTS-1隔日投与方法+レンチナン併用療法の臨床的有用性を検討する（TTF、OS、PFS、効果、有害事象、QOL）ことを説明する。

村上直子：議題2

花粉症を含めたアレルギー性鼻炎においては、主要症状であるくしゃみ・鼻水鼻閉、眼症状などに伴い頭痛や頭重感、集中力の低下など、日常生活における身体的、社会的、精神的機能への影響は非常に大きいことが報告されている。一方で、各症状を治癒し、quality of life(QOL)を改善させるために使用されるヒスタミン受容体拮抗薬は鎮静作用を有するため、患者によっては日中に強い眠気を引き起こし、更にQOLを低下させてしまうことも報告されている。昨年に引き続き、ヒスタミン受容体拮抗薬や市販の風邪薬服用により眠気を訴える患者等を対象に、ロイコトリエン受容体拮抗薬（プラナルカスト水和物）と鼻噴霧用ステロイド薬併用による眠気が極めて少ないと考えられる花粉症治療を実施し、その安全性・有効性を確認すると共に、昨シーズンと今シーズンの治療満足度（薬剤による副作用を含む）についても比較検討を行う。また、今シーズンは大量飛散年と予測されていることから、頓服用の薬剤も併せて処方し、その薬剤の使用日数についても調査を行うことを説明する。

各委員：出席者全員一致で了承。